



13日(水)に、初声小学校の4年生が、海藻おしば教室に参加しました。

日本には、1500種類、世界には10000種類の海藻があるという説明を受けた後、DVDで、海藻の果たしている役割について学習しました。子どもたちは、海藻の森が「生き物を育てるすみか」になり、

「海をきれいにする」働きをしていることを学びました。



続いて、作業に移りました。台紙となるはがきを水に濡らし、その上に、ようじやストローを使って、海藻を

丁寧に広げていきます。各自が思い思いのデザインを考え取り組みました。「おれ、海藻が好きになっちゃったかも」とつぶやく児童もいました。

作品は、2週間後くらいに、乾燥、パウチされて学校に届くそうです。海藻おしば協会の皆さん、ありがとうございました。



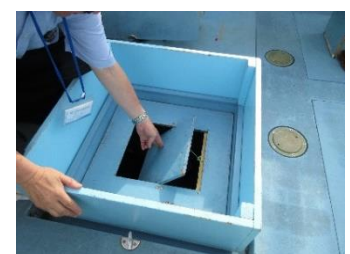
8日(金)に、名向小学校5年生が、真珠の浜揚げに挑戦しました。来年、本格的に取り組む浜揚げの予行練習として、一人一個だけの体験でしたが、意欲的に取り組んでいました。右の写真のように、かなりの真珠が出てきました。来月には、真珠の核入れに挑戦します。子どもたちからは、「来月まで待ちきれない」等の

声が上がっていました。今回も、小パール隊の皆さんにお世話になりました。



8日(金)に、間口漁港で、千良(ちよし)丸の鈴木さん親子に、松輪サバについて取材させていただきました。上宮田小学校の5年生が、サバについて年間通して学習することになっているということで、先生方と一緒にお話を伺いました。

サバ釣りの竿は、4mほどの長さで、(左上の写真の緑の竿)、1人が3本の竿を、一度に扱うそうです。釣り上げた魚は、鮮度を保つため、「やはず」という道具(右上の写真)で、サバを針から外し、魚自身の重さで、手を触れずに氷を張った水に飛び込むようになっています。(右下の写真)



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで